第168号
令和5年8月31日発行

地域景況レポート

2023年「令和5年度第1期（4月～6月期）」

とっかけ

“鮫川の川面を照らす大輪の花”

▲今年の「第25回なこそ鮫川花火大会」。多くの人出でにぎわいました。

なこそ鮫川花火大会

企業や地域・まちづくり団体が一体となって行われる「なこそ夏まつり」は、いわき市南部地区の夏の風物詩です。コロナ禍前までは、いわきおどり勿来大会、サンバパレード、鮫川花火大会が同日に開催されていたことから、一日で複数のイベントが楽しめました。

コロナ禍のため、昨年、3年ぶりに開催された“なこそ鮫川花火大会”。

今年は規模を拡大して8月19日に実施されました。鮫川河川敷公園に華やかな花火約3,000発が夜空に打ち上げられ、川面には色鮮やかな景色を映し出していました。

目　次

表　紙　“鮫川の川面を照らす大輪の花”
1～5　中小企業景気動向調査の集計結果
　　特別調査「アフターコロナと中小企業」
6　企業紹介㊶「㈲ 鈴喜商店」
7　市内の観光歴史めぐり：金刀比羅神社／向日葵

100年のありがとう
街の応援団・町のパートナー
ひまわり信用金庫

中小企業景気動向調査の集計結果

［調査対象企業数　400 社］
［回答企業数　　397 社］
［回収率　　99.2%］

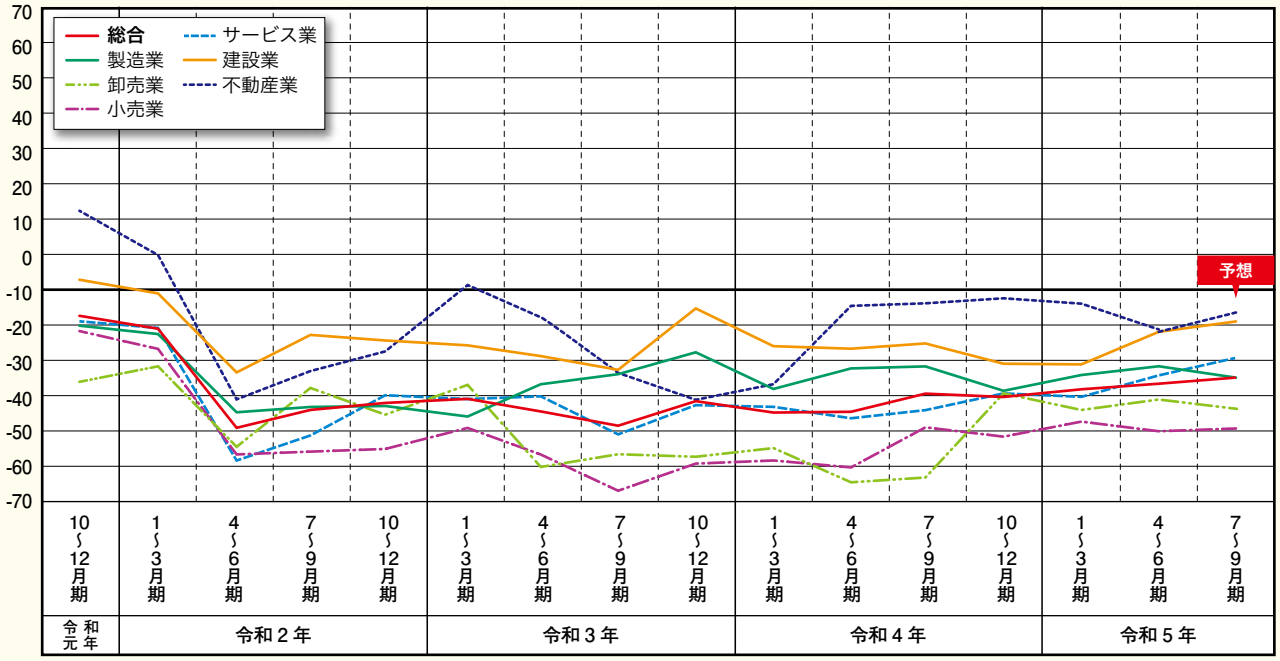
景気動向調査回答企業　（先）

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	計
平・内郷方部（本店・四倉・豊間・内郷・平窪・好間・中央台支店の地域）	29	15	48	32	25	10	159
小名浜・常磐方部（小名浜・泉・湯本・遠野・鹿島支店の地域）	30	13	37	26	27	9	142
勿来方部（植田・錦・勿来・中岡支店の地域）	21	4	31	20	15	5	96
合計	**80**	**32**	**116**	**78**	**67**	**24**	**397**

概　況

業況はわずかに改善し、先行きについてもわずかながら改善する見通し

令和５年４月～６月期の自企業の業況 DI を前回調査（令和５年１月～３月期）と比較すると、いわき市全域で「悪化」超 36.0％と 1.8 ポイント悪化超幅が縮小した。前回調査時の「今期予想」では「悪化」超を 37.3％とみていたので、予想よりも 1.3 ポイント悪化超幅が縮小した。地域別では、平・内郷方部は「悪化」超 32.7％と 6.0 ポイント悪化超幅が縮小、小名浜、常磐方部も「悪化」超 32.4％と 0.2 ポイント悪化超幅が縮小した。一方、勿来方部は「悪化」超 46.9％と 2.8 ポイント悪化超幅が拡大した。先行き（令和５年７～９月期）は、いわき市全域で「悪化」35.0％と、わずかながら改善が見込まれている。



自企業の業況

※ DI（Diffusion Index）値とは
　景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値。「とっかけ」も DI 値を使用しています。

業種別・地域別業況

一部業種で悪化が見られたものの、業種全体ではわずかに改善。先行きも業種全体でわずかながら改善する見通し

前回調査（令和５年１月～３月期）と今回調査（令和５年４月～６月期）を業種別にみると、製造業は「悪化」超31.3％と悪化超幅が2.5ポイント縮小、卸売業は「悪化」超40.6％と悪化超幅が2.3ポイント縮小、サービス業は「悪化」超34.6％と悪化超幅が5.4ポイント縮小、建設業も「悪化」超22.4％悪化超幅が7.8ポイントと縮小した。一方、小売業は「悪化」超50.0％と悪化超幅が2.7ポイント拡大、不動産業も「悪化」超20.8％と悪化超幅が7.8ポイン拡大した。

先行き（令和５年７月～９月期）は、製造業、卸売業は悪化超幅が拡大となる一方、小売業、サービス業、建設業、不動産業は悪化超幅が縮小することから、業種全体では「悪化」超35.0％と、わずかながら改善が見込まれている。

業種別の業況

（　）は前回調査時の今期予想［単位：%］

業種別	令和5年1月～3月期	令和5年4月～6月期	令和5年7月～9月期(予想)
総合	▲37.8	▲36.0(▲37.3)	▲35.0
製造業	▲33.8	▲31.3(▲31.0)	▲35.0
卸売業	▲42.9	▲40.6(▲50.0)	▲43.8
小売業	▲47.3	▲50.0(▲46.4)	▲49.1
サービス業	▲40.0	▲34.6(▲37.1)	▲29.5
建設業	▲30.2	▲22.4(▲31.7)	▲19.4
不動産業	▲13.0	▲20.8(▲13.0)	▲16.7

地域別の業況［方部別の推移］

［単位：%］

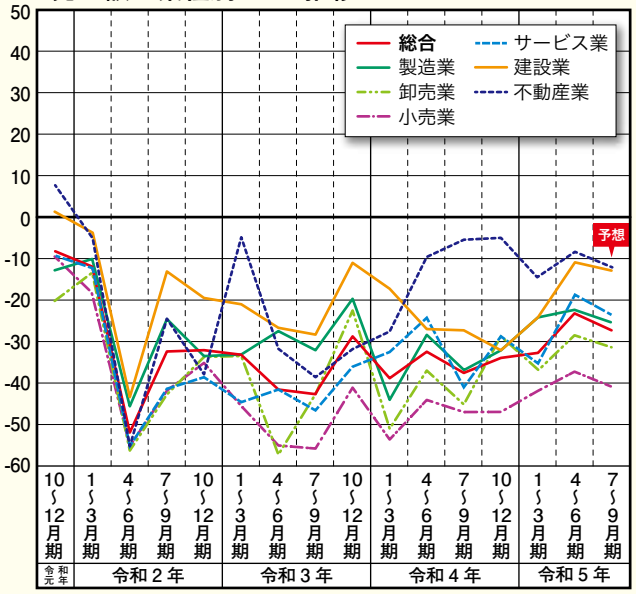
方部別	令和5年1月～3月期	令和5年4月～6月期	令和5年7月～9月期(予想)
いわき市全域	▲37.8	▲36.0	▲35.0
平・内郷方部（本店・四倉・豊間・内郷・平窪・好間・中央台支店の地域）	▲38.7	▲32.7	▲31.4
小名浜・常磐方部（小名浜・泉・湯本・遠野・鹿島支店の地域）	▲32.6	▲32.4	▲32.4
勿来方部（植田・錦・勿来・中岡支店の地域）	▲44.1	▲46.9	▲44.8

※▲は「悪化」超

売上額

売上額は、前回調査（令和５年１月～３月期）の「減少」超31.2％に対し、今回調査（令和５年４月～６月期）では、「減少」超23.4％と7.8ポイント減少超幅が縮小した。先行き（令和５年７月～９月期）は、「減少」超27.0％と、売上額の減少を見込まれている企業がやや増加している。

売上額の業種別DIの推移



受注残

製造業は、前回調査（令和５年１月～３月期）の「減少」超18.3％に対し、今回調査（令和５年４月～６月期）では、「減少」超20.0％と1.7ポイント減少超幅が拡大した。先行き（令和５年７月～９月期）は、「減少」超22.5％と、受注残の減少を見込まれている企業がわずかに増加している。

建設業は、前回調査（令和５年１月～３月期）の「減少」超17.5％に対し、今回調査（令和５年４月～６月期）では、「減少」超17.9％と0.4ポイント減少超幅が拡大した。先行き（令和５年７月～９月期）も、「減少」超10.4％と、受注残の減少を見込まれている企業が減少している。

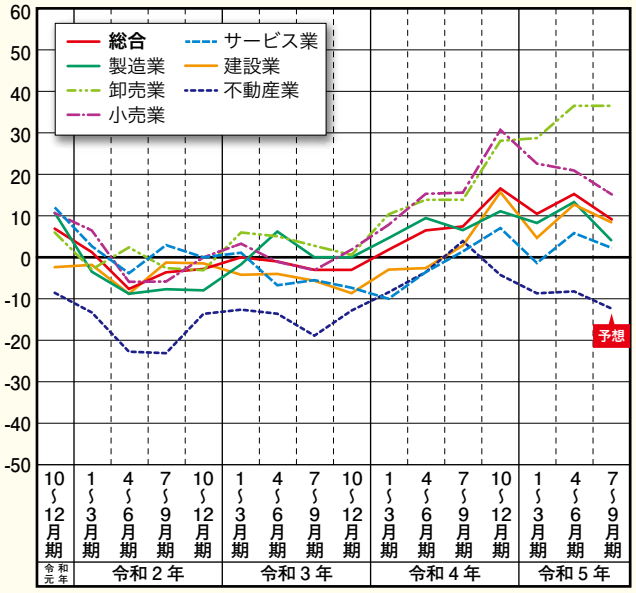
施工高

建設業における施工高は、前回調査（令和５年１月～３月期）の「減少」超12.7％に対し、今回調査（令和５年４月～６月期）では、「減少」超9.0％と3.7ポイント減少超幅が縮小した。

先行き（令和５年７月～９月期）は、「減少」超1.5％と、施工高の減少を見込まれている企業が減少している。

販売・請負価格

販売・請負価格の業種別 DI の推移



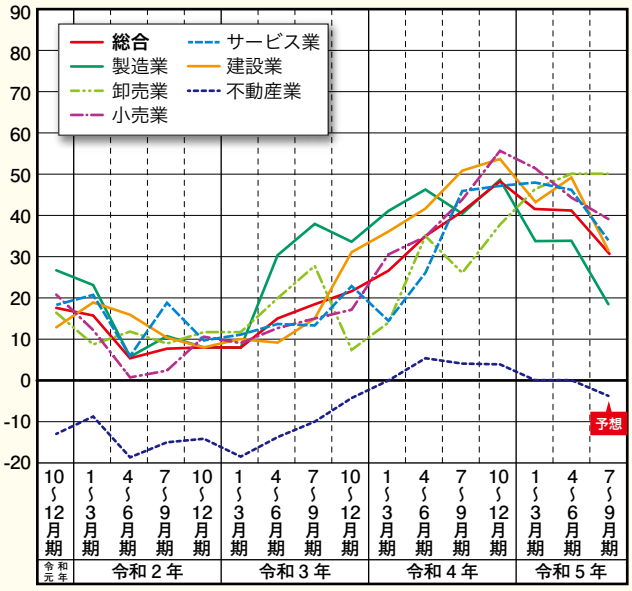
販売・請負価格は、業種全体で前回調査（令和５年１月～３月期）の「上昇」超 10.7％に対し、今回調査（令和５年４月～６月期）では、「上昇」超 15.1％と 4.4 ポイント上昇超幅が拡大した。

業種別では、小売業は「下降」超、その他の業種は「上昇」超となった。

先行き（令和５年７月～９月期）は、卸売業は前回と同数、その他の業種は下降を見込まれていることから、業種全体では「上昇」超 9.6％と、販売・請負価格の上昇を見込まれている企業が減少している

原材料・仕入れ価格

原材料・仕入れ価格の業種別 DI の推移



原材料・仕入れ価格は、業種全体で前回調査（令和５年１月～３月期）の「上昇」超 42.4％に対し、今回調査（令和５年４月～６月期）では、「上昇」超 41.4％と 1.0 ポイント上昇超幅が縮小した。

先行き（令和５年７月～９月期）は、業種全体で「上昇」超 30.8％と、原材料・仕入れ価格の上昇を見込まれている企業が減少している。

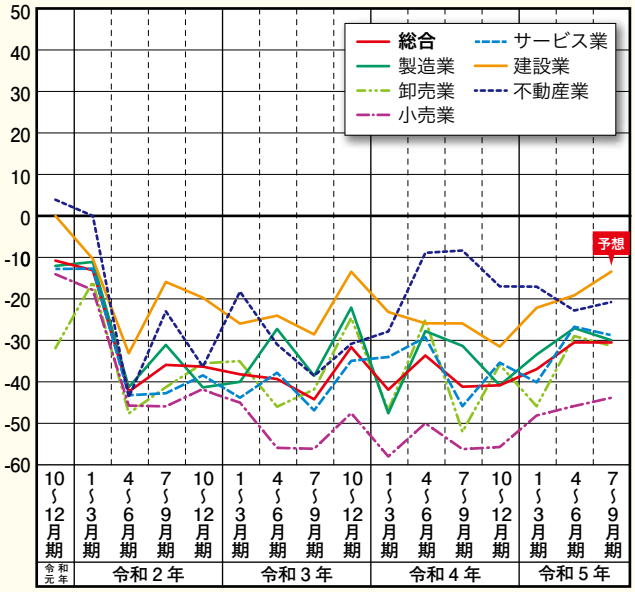
収益

収益は、業種全体で前回調査（令和５年１月～３月期）の「減少」超 37.3％に対し、今回調査（令和５年４月～６月期）では、「減少」超 30.5％と 6.8 ポイント減少超幅が縮小した。

業種別に前回調査（令和５年１月～３月期）と今回調査（令和５年４月～６月期）を比較すると、すべての業種で減少超が縮小した。

先行き（令和５年７月～９月期）は、業種全体で今回調査と同数の「減少」超 30.5％が見込まれている。

収益の業種別 DI の推移



在庫

在庫の状況は、業種全体で前回調査（令和５年１月～３月期）の「不足」超 1.7％に対し、今回調査（令和５年４月～６月期）では、「不足」超 0.9％と 0.8 ポイント減少超幅が縮小した。

先行き（令和５年７月～９月期）は、製造業で「不足」超幅が拡大するほか、建設業で「過剰」超から「不足」超になることが見込まれていることから、業種全体で「不足」超 2.5％が見込まれている。

▸▸ 資金繰り

資金繰りは、依然としてすべての業種で「苦しい」超となっており、業種全体でも「苦しい」超25.9％となった。

先行き（令和５年７月～９月期）も、すべての業種で「苦しい」超としており、業種全体で「苦しい」超24.7％と、資金繰りが「苦しい」とする企業がわずかに減少することが見込まれているものの、資金繰りは、今後も厳しい状況が続くものと思われる。

▸▸ 金融機関借り入れ状況

金融機関からの借り入れ状況は、全体の90.2％の企業が「借り入れしない」とした。

今後の借り入れ予定についても、すべての業種で「借り入れの予定なし」とした企業が「借り入れの予定あり」とした企業を大幅に上回っており、全体の92.2％の企業が「借り入れの予定なし」としている。

また、金融機関からの借り入れ難易度は、「難しい」・「該当なし」とする企業の割合が前回調査（令和５年１月～３月期）の90.4％に対し、今回調査（令和５年４月～６月期）では、88.1％と、わずかに減少しているものの、借り入れは行わないとする考え方は、依然として変わっていない。

▸▸ 設備の状況

設備の状況は、９割の企業（令和５年４月～６月期92.2％、令和５年７月～９月期予想も92.2％）は「適正」とした。

なお、「適正」以外の回答をみると、今回調査（令和５年４月～６月期）でも、全ての業種で「不足」・「やや不足」とする企業が「過剰」・「やや過剰」とする企業を上回ったことから、業種全体で「不足」超5.6％と前回調査と同様「不足」超の状況となった。

設備投資の実施・予定

上段：先数
下段：比率（％）

業種	令和５年４月～６月期							令和５年７月～９月期						
	土地・建物	機械・新増	機械・更改	事務機器	車両	その他	実施しない	土地・建物	機械・新増	機械・更改	事務機器	車両	その他	実施しない
総合	6 1.6	12 3.1	4 1.0	25 6.5	15 3.9	1 0.3	323 83.7	7 1.8	13 3.4	8 2.1	23 6.0	8 2.1	2 0.5	324 84.2
製造業	3 3.5	4 4.7	3 3.5	3 3.5	4 4.7	0 0.0	68 80.0	3 3.5	3 3.5	5 5.9	4 4.7	2 2.4	0 0.0	68 80.0
卸売業	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 6.3	1 3.1	0 0.0	29 90.6	0 0.0	1 3.1	0 0.0	2 6.3	0 0.0	0 0.0	29 90.6
小売業	1 0.9	―	―	10 8.5	6 5.1	1 0.9	99 84.6	1 0.9	―	―	10 8.7	3 2.6	2 1.7	99 86.1
サービス業	1 1.3	5 6.3	0 0.0	4 5.0	1 1.3	0 0.0	69 86.3	2 2.4	6 7.3	2 2.4	3 3.7	1 1.2	0 0.0	68 82.9
建設業	1 1.4	3 4.2	1 1.4	6 8.3	3 4.2	0 0.0	58 80.6	1 1.4	3 4.2	1 1.4	4 5.6	2 2.8	0 0.0	60 84.5

経営上の問題点

（複数回答）

項目	計	業種別					
		製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
売上の停滞・減少	190	32	19	66	42	24	7
原材料高（材料価格の上昇）	90	34	―		28	28	―
同業者間の競争の激化	73	4	8	19	21	13	8
人手不足	69	11	2	14	18	22	2
利幅の縮小	63	14	9	23	7	10	0
仕入先からの値上げ要請	45	5	6	34	―	―	―
人件費の増加	43	9	4	7	10	11	2
大手企業（大型店）との競争の激化	27	―	―	13	3	6	5
取引先の減少	19	―	4	12	3	―	―
工場（店舗）・設備（機械）の狭小・老朽化	14	8	0	2	4	―	―
商店街の集客力の低下	12	―	―	12	―	―	―
人件費以外の経費の増加	12	3	0	4	4	0	1
その他	87	19	9	20	14	17	8
問題なし	43	9	2	14	7	8	3
合計	787	148	63	240	161	139	36

当面の重点経営施策（経営のポイント）

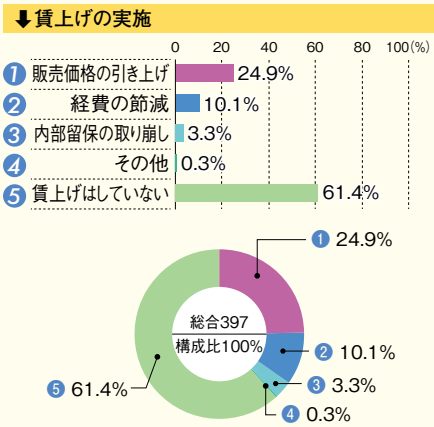
（複数回答）

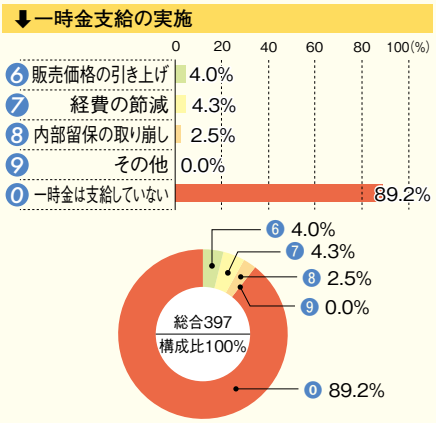
項目	計	業種別					
		製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
経費を節減する	227	45	22	71	45	38	6
販路を広げる	91	26	12	―	19	26	8
人材を確保する	64	14	2	14	14	18	2
宣伝・広告を強化する	53	―	―	24	17	―	12
情報力を強化する	39	17	6	―	―	10	6
品揃えを改善（充実）する	35	―	7	28	―	―	―
技術力を強化する（高める）	26	―	―	―	9	17	―
提携先を見つける	25	8	4	―	6	―	7
売れ筋商品を取り扱う	19	―	―	19	―	―	―
教育訓練を強化する	14	5	0	1	6	2	0
労働条件を改善する	13	4	1	―	3	5	0
仕入先を開拓・選別する	9	―	―	9	―	―	―
その他	54	14	7	18	8	3	4
特になし	59	12	2	20	11	11	3
合計	728	145	63	204	138	130	48

特別調査「アフターコロナと中小企業」

問1

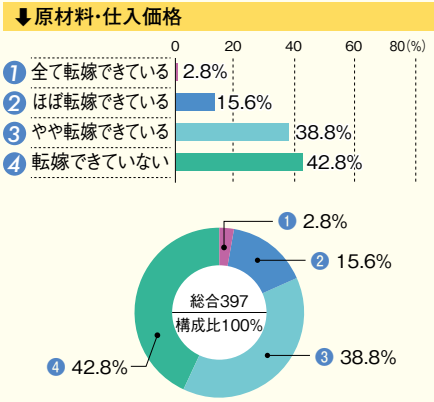
政府が企業に対して賃上げを要請していますが、貴社では賃上げ、もしくは一時金の支給を実施しましたか。賃上げをした方は、その原資について1～4から、一時金の支給をした方は、その原資について6～9の中から選んでお答えください。賃上げや一時金の支給をしていない方は、5・0とお答えください。

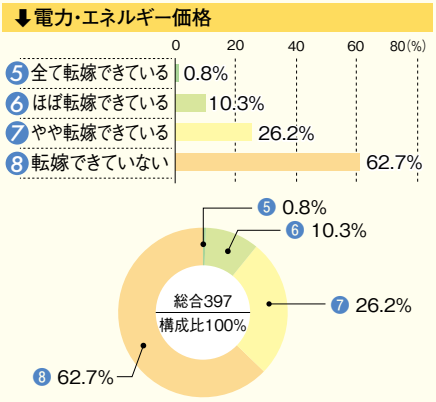




問2

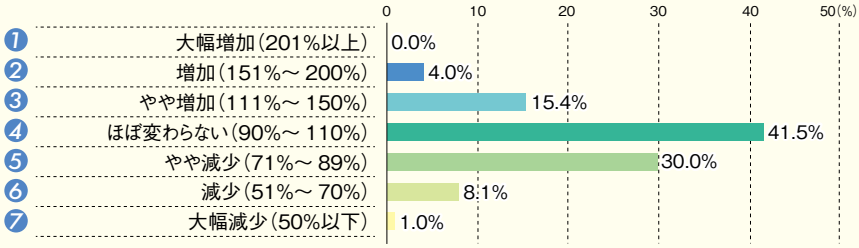
貴社では、昨今の原材料・仕入価格の上昇分や電力・エネルギー価格の上昇分相当を、販売価格に転嫁（上乗せ、値上げ）できていますか。「原材料・仕入価格」については1～4から、「電力・エルネギー価格」については5～8からそれぞれお答えください。





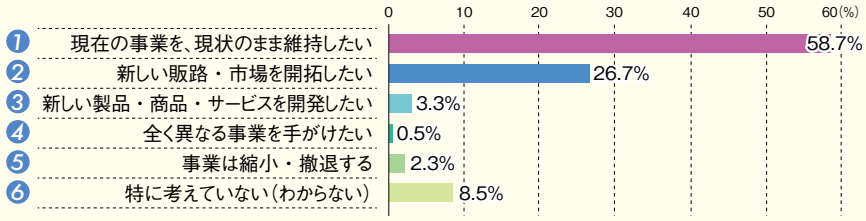
問3

新型コロナウイルス感染拡大から3年が経過しましたが、貴社の現在の売り上げについて、感染拡大前（およそ3年前）と比べ、どの程度となっていますか。次の中から1つ選んでお答えください。



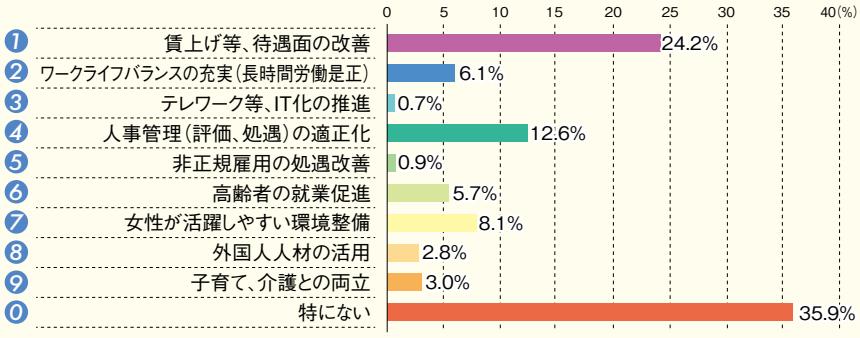
問4

貴社では、3～5年後に向けて、現在の事業をどのように展開していきたいとお考えですか。次の1～6の中から、最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。



問5

貴社では、人材確保のための職場環境改善へ向けて実施していることはありますか。1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。



企業紹介 ㊶

public relations

㈲ 鈴喜商店

代表取締役

鈴木　信喜

当社は創業以来、主に非鉄金属、特殊金属、希少金属などを回収し、リサイクルしてまいりました。いわき市を中心に近県からの引き合いが多く、地域の資源開発に貢献しております。

また、今日の環境重視型・資源循環型社会では、あらゆる産業分野でリサイクルは当たり前のこととなり、鉄鋼以外の分野からのリサイクル相談が非常に増えてきています。当社が長年培ってきたノウハウは、このような社会的ニーズの拡大に十分貢献できるものと確信しております。

事業そのものが近年注目されているSDGｓ（持続可能な開発目標）に資すると考えていますが、達成に向け、環境保全だけでなく、労働環境の整備や管理体制の強化にも取り組んでまいります。

1970（昭和45）年に個人事業としてスタートし、1980年5月に有限会社として設立。取り扱い量は月1,000～1,500tに達し、同業種では県内1位、東北でもトップを争う。昨年度の年商は約112億円。

仕入れは国内が7割、東南アジアなど海外からが3割。スクラップとして届いた自動車部品や建物の電子部品などから不純物を取り除いたり、ほかの金属を切断したりし、国内の製錬所や二次合金メーカーに販売している。

渡辺町にある本社は事務機能が中心で、遠野町上遠野地内にある広さ約1万㎡の「第二ヤード」が集荷・出荷の拠点。常磐西郷町には、伸銅品の集荷・出荷を担う「小名浜リサイクルセンター」。今年1月には、宮城県・大和町に北東北の会社向け拠点「宮城ヤード」を整備した。

近年、取引先の製錬所などから、スクラップの使用比率を高めたいとの要望も。ニーズに対応しながら、SDGsの達成にも寄与していく。

住　〒972－8336　いわき市渡辺町上釜戸字瀬峰74
☎　0246－56－7400
営　平日・午前8時～午後5時
　　土曜・午前8時～午後3時
休　日曜日・祝日

市内の 観光歴史めぐり

（いわき市常磐関船町諏訪下６－３）

金刀比羅神社
（ことひらじんじゃ）

いわき市には、多くの観光歴史名所があります。「市内の観光歴史めぐり」として、金刀比羅神社を紹介します。

永正2(1505)年、現宮司家の第３代目にあたる威寶院弘栄が、日頃尊拝する四国の金毘羅大権現の御分霊をこの地にお祀りしたのが始まりです。以来、御神威はいわき市内はもとより、茨城県北部の人々に至るまで挙げて尊崇する神社となっており、「いわきのこんぴらさま」として親しまれています。

【主な年中行事】

●例大祭〈毎年１月10日〉

「初こんぴら」とも言われ、海上安全、商売繁盛を願い、福だるま（いわきだるま）や熊手を買い求める人でにぎわいます。

●湯立神事（くがたちしんじ）〈毎年６月〉

大釜に湯を沸かし、神職が笹の葉をもって湯をかき交ぜ、周囲にしぶきを散らし、そのしぶきにあたることによって、厄難から逃れられると信じられています。

【文化財】

楠正成・正行
桜井の別れ

三国志「桃園の誓い」

奉納されている絵馬50面が平成15(2003)年４月25日にいわき市の文化財に指定されました。一社に奉納された絵馬でこのように多数、良好な状態で保存されているのは市内では他に例がなく、貴重な史料であります。

column

向日葵

日本銀行福島支店は、2023年７月に公表した2023年６月分の福島県金融経済概況で、県内景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。最終需要の動向をみると、個人消費は、緩やかに回復している。住宅投資は、減少している。設備投資は、コロナ禍で見送られた投資や能力増強投資がみられており、緩やかに持ち直している。公共投資は、持ち直していると公表されております。

当金庫の令和５年４月～６月期の中小企業景気動向調査の業況をみると、いわき市全域では、前回調査（令和５年１月～３月期）と比較し、業種全体で僅かに改善しています。なお、資金繰りについては、依然としてすべての業種で「苦しい」超となっており、先行きもすべての業種で「苦しい」超となっています。

当金庫は、今後もお客様の様々な課題解決のお手伝いをさせていただくため、お客様に寄り添い、積極的にかつ迅速に取り組んでまいります。

発行／ひまわり信用金庫
〒970－8026　いわき市平字二町目10
編集／総務部　総務グループ　TEL.0246－23－8500
http://www.shinkin.co.jp/himawari/

▶『とっかけ』とは　「始める」「取りかかる」という意味のいわき地方の方言です。この情報を、何かを始めようとする時のきっかけ、取っかかりにして頂ければ幸いです。